

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2017～2018年度 国際ロータリー イアン H.S. ライズリー 会長テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ロータリー : 変化をもたらす

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 吉原 孝彦
幹事 出口 達也
会報委員長 佐野 彰彦

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2985回例会プログラム

[当年度=11回目；当月=1週目]

2017年（平成29年）10月2日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……………奉仕の理想
6. 歓迎の辞及びゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. 退会会員挨拶……………古屋 俊児 会員
山本 善明 会員
10. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
11. 幹事報告
12. 出席報告
13. 委員会報告
14. ニコニコボックス報告
15. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(10/9) ……休会 (法定休日)
(10/16) ……ガバナー公式訪問
(知立 RC との合同)
12:30～ホテルクラウンパレス知立

- 13:00 16. 地区副幹事挨拶…………… 小西 忠昭 様
13:05 17. 卓話
西三河分区ガバナー補佐 大高 敏睦 様
18. 謝辞
19. 諸事ご案内……………〈幹事〉
20. 点鐘……………〈会長〉
13:30 21. 閉会宣言

記念写真の撮影

13:40 クラブ協議会……………〈司会：会長〉

1. 開会の挨拶……………〈会長〉
2. ガバナー補佐の挨拶

3. 各委員長による委員会計画の発表と
ガバナー補佐のご指導
4. ガバナー補佐の総評
5. お礼の挨拶……………〈会長〉

15:00 散会



会長・幹事懇談会

ビ ジ タ ー

知立 RC

近藤 一幸 様

ゲ ス ト

西三河分区ガバナー補佐
地区副幹事
西三河分区分区幹事
地区スタッフ

大高 敏睦 様
小西 忠昭 様
鈴木 善和 様
遠藤 泰昭 様



青少年交換学生 ローウェン・ジェームス・
マコール・ステファンソン 君

出席

会員総数 96名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 85名
欠席 5名 出席率 94.12%
前々回(9/11)の修正出席率 100%

幹事報告

- 1) 10月1日よりロータリー財団のロータリーレートは、112円になりました。
- 2) 例会終了後、記念撮影を行ないますので、ご予定をお願い致します。
- 3) また、記念撮影終了後、クラブ協議会を開催致しますので、ご関係の方はご出席をお願い致します。

会長あいさつ

10月は神無月

吉原 孝彦



神無月の語源で、出雲大社に全国の神が集まって、出雲以外には神がいなくなるという説は中世以降の後付けで、出雲大社の御師が全国に広めた俗解だそうです。しかしながらしっかりと神様のスケジュールも決まっています。10月1日神送り、10

日神迎え、11日～17日神在祭、17日神等去出祭(からさでさい)、26日第二神等去出祭、末日神迎え、となっています。全ての神様が出雲に行くのではなく、恵比須神、金毘羅神などは留守番をしていました。

神宮・大社・神社の違いは何でしょうか。

皇室の祖先神や天皇を祀る神社や、大和平定に後席のある特定の神を祭神とする神社に付けられる社号が「神宮」です。明治維新以前は伊勢神宮、鹿島神宮、香取神宮の三つだけで、単に神宮と言えば伊勢神宮のことでした。今は熱田神宮を含め24社あります。

大社とは大きな神社、または平安時代初期に大社として列格される神社ですが、明治維新以前は出雲大社と熊野大社のみが名乗り、第二次世界大戦終了までは出雲大社のみでした。戦後、旧官幣大社や旧国幣大社など大社格の神社で名乗り、現在では24社あります。

単に大社(おおよし)といえば出雲大社のことを指します。古代からは杵築(きずき)大社と呼ばれていましたが、1871年に改称しました。拝礼の作法も違っていて、2礼4拍手1拝。現在でも皇室の者といえども本殿内までは入れないしきたりを守り続けています。

余談ですが、「社」はもともと神の来臨する聖域を差し、「宮」はそこに設けられた祭のときの仮屋でしたが、いつしか立場が逆転して宮が最高位の社格となったそうです。

(2)

米寿のお祝い



坂 茂 会員

金婚式のお祝い



盛田 豊一 会員

銀婚式のお祝い



深谷 嘉英 会員

お祝い

10月の会員の誕生日…坂茂、太田保、野村重彦、堀正剛、内藤耕造、大音祖瑛、深谷稔彦、塚本幸夫、室殿豊、新海伸二、中村育生、山下雅則、寺田博正会員。

配偶者の誕生日…羽田孝子(育哉)、加藤多津枝(哲也)、下谷裕子(敏朗)、田中恵里子(正之)、出口うつみ(達也)、加藤未友紀(大志朗)、盛田ともみ(高史)、市川順子(紀征)様。

結婚記念日…坂茂、太田保、大音祖瑛、堀正剛、盛田豊一、前田孝司、杉浦世志朗、小野雄司、太田宗一郎、加藤真治、河内利夫、兵藤文男、横山宜幸、加藤英樹、

深谷嘉英、深谷稔彦、高橋満典、鬼頭一浩、近藤洋一
会員。

10月度入会記念日…大竹憲治、吉原孝彦、池田直樹、近
藤洋一会員。

退会会員挨拶



古屋 俊児 会員



山本 善明 会員

地区副幹事挨拶



小西 忠昭 様

卓 話

「ロータリーとは何ですか？」

西三河分区ガバナー補佐
大高 敏睦 様



1. RI 2017-18年度 イアン H.S.
ライズリー会長の国際ロータリー
のテーマは
ROTARY : MAKING A
DIFFERENCE 「ロータリー：
変化をもたらす」です。

この国際ロータリーのテーマは
「ロータリーとは何ですか？」の問いかけから生まれ
ました。

☆ 現在世界で120 万人の会員が奉仕活動を行って
おります。

☆ ロータリーとは、「どのような団体か」ではなく、
「何をしているか」が重要です。

私たちは行動をもって答えます。奉仕を通じて変
化をもたらし、また各クラブがロータリー奉仕を独
自に定義し長期の計画、持続可能な奉仕組織であり
続けなければなりません。

2017-18 年度、「ロータリーとは何ですか？」と
いう問いに、

以上のことから、私は「ロータリー：変化をもた
らす」という RI テーマにしました。

☆ ロータリーの目的は

言うまでもなく、「意義ある事業の基礎として奉
仕の理想を奨励し、これを育むことにある」。
この場でロータリーの目的を再確認して頂きたい。

2. 神野重行ガバナーは2017-18年度 地区方針として
「今日からのロータリーを楽しもう!」また、「奉仕を
通じてロータリー活動に楽しみを見出そう」。とも
言われています。

その意味は

☆ ロータリアンは絶えず向上意欲を持って日々研
鑽に励んでいる人、その集合体であるクラブも日々
より高いロータリーブランドの追求を目指し、そ
の追求が会員の楽しみとならなければクラブの維持
発展はできない。との意味です。

3. 地区のビジョンは

「10年後20年後も地区の輝きが持続可能であること」
です。

そのためにはクラブが輝いていることが必要です。

☆ ビジョン達成の為には

- ①クラブ中期計画策定のためクラブ戦略委員会の設
置
- ②地区研修委員会の見直しと強化（研修実行委員会
の設置）が実施されます。

4. 行動指針「今日からのロータリーを楽しむための実践項目」として

- ①クラブ中期計画策定のためクラブ戦略委員会の設置
- ②クラブと地区の行事への積極的参加
- ③周りへの積極的な働きかけ
- ④ロータリーファミリーとの連携強化
- ⑤会員増強の柱は退会防止。

日本に過去13万人のメンバーがいましたが最近では9万人と大幅に減っております。このままでは現在の3ゾーンの維持が難しくなります。

楽しければ新入会員はやめない。また、女性会員を増やしましょう。

☆ 以上の行動から「公共イメージの向上」につなげましょう。

5. 2017-18年度の特記事項として

- ①戦略委員会の創設
10年後20年後を見据えてロータリークラブの活動を検証する。
委員長にはクラブの会長にお願いしたい。
- ②細則変更
2016年の規定審議会では各クラブの自主的・柔軟性を尊重したロータリークラブの運営が認められています。
- ③地区では10年史の作成を行います。全会員に購入をお願いします。
- ④「アースデイ」環境週間の取り組み
地球保全のためメンバー1人/1本の植樹を来年4月22日までに行う。
2760地区には4,800本植える。

6. ガバナー賞

ガバナー賞はクラブ戦略委員会を設置し、次のどちらか一つを達成したクラブに与えられます。

- ①会員数 増強3%以上
- ②米山記念奨学事業に対する寄付達成。(2万/1人・クラブ特別寄付率80%)

7. RCC (ロータリー地域共同体

ロータリー地域社会共同体 (RCC) は、ロータリアン以外の人々がロータリーの価値観を共有し、奉仕活動に尽力するグループ

RCCの目的は地域社会の生活状態を改善し、人生の喜びを高揚すること。

RCCの目標

- ①個人が地域社会の改善のため責任をもって活動する。
- ②あらゆる有用な仕事の尊さと真価を認識する。
- ③生活の質の向上を図るため自主自助の活動と協同活動を実施する。
- ④地元の文化や地域社会の状況下で、人間の能力を最大限に発揮するよう奨励する。

8. 電気の安全チェック「ひとり暮らし老人世帯を対象」

- ・職業奉仕として私の経験談をお聞きください。
1991年から西尾幡豆電気工事協力会はボランティア活動として老人世帯を対象に電気機器の点検サービスを行った。このボランティア活動は西尾市から全国に広がり現在も続けられている。

9. 2017-18年度 西三河分区 サブメッセージ

☆ Smile for all, = happiness

☆ 各クラブの多様性の尊重

この2つをサブメッセージとしてお話をさせていただきます。

*人にはそれぞれの個性があります。中庸の心を持って、お互いを認め合い笑顔で楽しく幸せなロータリー活動に行きましょう。



ガバナー補佐訪問 集合写真

クラブ協議会



各委員会による委員会計画の発表とガバナー補佐のご指導